

高松学習館運営協議会（令和3年9月）会議録概要

開催日時 令和3年9月22日（水曜日）午前9時30分～午前11時30分

開催場所 高松学習館 実習室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学常勤教授）

小林理哉（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

関口真一（高松児童館）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

小倉亮一（立川市市民交流大学推進委員会）

難波敦子（学習館利用団体）

栗原政子（学習館利用団体）

欠席 3名

[地域学校コーディネーター] 市川美智子

[事務局] 石井孝(高松学習館係長)、梅澤千枝(生涯学習係)

富田瑞代(高松学習館市民囑託)

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ

皆様おはようございます。今日は第二中学校の地域学校コーディネーターの市川さんと生涯学習係の梅澤さんが来られる。情報意見交換など有意義にできたらと思う。ミニ展示会が始まり、演奏会出演の3団体のビデオライブ紹介も実施している。9/11に愛宕神社のおまつりを南部公園で実施した。規模を縮小してお神輿と奉納踊りをやった。ニュースでだんじり祭りが無観客で開催されたと聞いた。少しずつ復活の兆しが見える。先日錦学習館運営協議会を傍聴した。10/7の地域学校コーディネーターとの交換会も傍聴する予定。プレ錦まつりの子ども向け版として学芸大の学生のアイデアで先週の日曜にzoomを使って防災探検講座を実施された。参加者は自宅または錦児童館のWi-Fiを利用して楽しみながら防災意識を高めるといっても斬新な企画で感銘を受けた。Wi-Fiがいよいよ整うと聞いている。少しずつ変化も見えているので新しい視点を採り入れていければと思う。

2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。
 - ・感染症対策：緊急事態宣言延長（9月末まで）となり、ひき続き、午後8時までの利用自粛の協力をお願いしている。大半のサークルは協力してくれている。
 - ・アール・ブリュット立川～高松からの風：9/1～9/14 作品展示実施。来館者アンケート集計結果は大好評で楽しみにしているという意見が多かった。どの作品も見応えがあり、ワークショップ（トレーシングペーパーでつくる花空間）も盛況だった。毎年誰でも参加できるワークショップを企画している。今年度は伊勢丹会場がなく、昭和記念公園内の施設と学習館の展示は作家にとって貴重な作品発表の場となっている。地域の障害者施設の参加もある。新しいパネ

ルを初めて試してみたが、簡単に組み立てられて移動も楽で使い勝手が良いことがわかった。5年間実施で地域に根付いてきている事業なので継続できるよう実行委員会と調整中。行政側が市民に寄り添って一緒に実施できるようにしていきたい。

- ・第2教室の雨漏り：カーテンが濡れるほどで施設課に対応を依頼した。
- ・ピアノ調律：第1教室のアップライトピアノの調子が悪い。予算内で調律をしながら様子を見ている状況。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) ミニ展示について

- ・9/16～12/1まで、週替わりでサークルの作品を廊下に展示している。期間中は階段壁面1F～3Fに高松児童館の子ども達の作品を展示している。事務室前のロビーで演奏会出演サークルのライブビデオ（梅田会長制作）の紹介も行っている。来館者アンケート集計してから次年度以降も継続するか検討する予定。
- ・展示について目立たない感じがするので、1F入口やエレベーターホールに展示会開催中という表示をしたらどうか。展示場所について、廊下は暗くて奥まで行く人が少ないので、作品のジャンルによってはエレベーターホールに展示の方が目立っていいのではないかと感じる。
- ・教室利用者は教室の出入口で作品に気づいて見てくれる人がいる。
- ・人の導線を考えて、階段を昇る方もエレベーターを利用する方どちらも展示場所を見逃さないようアピール方法を改善した方がいい。1Fにインフォメーションをわかりやすくした方がいい。
- ・児童館の作品は小さな子から中高生まで製作に関わってくれた。展示期間が長いので途中で作品の入替を行う予定（ハロウィンの頃）。
- ・中高生や学生に学習館事業に関わってもらえるようになっていくといいと思う。

(3) 地域活性化事業

- ・今後実施予定の事業について説明があった。例年10月開催の高松ふれあい健康フェアは中止となった。11月ファミリーコンサートや1月新春たかまつ落語会の当日スタッフとしてお手伝いいただける方はお願いしたい。「誰でもコンサート」は今年度は幸学習館が担当する。
- ・来年度について難波副会長より企画「指ヨガ」の提案があった。次回企画書（案）を提出してもらうことになった。
- ・来年度の企画については学校が必要とされる内容を挙げてもらえるといい。
- ・今後も緊急事態宣言により事業実施の中止、内容など直前にならないと確定できないことも考えられる。映画会については配給会社のキャンセル不可のため、閉館にならなければ実施する方向で進めている。

4. その他

- ・次回会議日程について確認した。
令和3年10月27日（水）午前9時30分～11時 高松学習館
- ・代表者連絡会：令和3年10月22日（金）午後6時30分 市役所
- ・次第の中の各項目にも資料番号を入れてほしいという要望が再度あった。

5. 地域学校コーディネーターとの情報意見交換会(午前 10 時 30 分～11 時 30 分)

- ・ 会長あいさつ：「学社一体」を謳っている中で、学校と地運協、学習館がどのように関わっていけるか、学校にアピールする場がない中で今年度は各学習館でこのように地域学校コーディネーターの方と意見交換の機会を持っていくように進められている。本日出席の第二中学校の地域学校コーディネーターの市川さんの他に、本日はご都合で欠席の第五小学校の地域学校コーディネーターの古川さんと第二小学校の地域学校コーディネーターの稲富さんも高松学習館に関わってください。
- ・ 自己紹介：各委員、地域学校コーディネーターより自己紹介があった。
- ・ 意見交換：
 - ・ 配布資料について事務局より説明があった。お互いの活動内容やニーズなどを知って情報交換し、よりよい関係を築いていけるようにしていきたい。学習館の方で何か手助けできることがあれば教えていただきたい。
 - ・ コロナ禍で学校の出入りが難しく活動が減っている。職場体験について依頼があったが、昨年度と今年度は実施できていない。担当する第二小学校は学習支援、放課後子ども教室がある。担当する第五小学校は放課後子ども教室を実施している。放課後子ども教室のコーディネーターをしている。コミュニティ・スクールとしては夏休みにラジオ体操を地域活動として実施した。3グループに分散して参加した親子は 400 人。第二中学校では職業体験は中止で活動はあまりないが、青少健で手紙を配布するなど校長先生から依頼されている。職場体験は学校の方に出向いてもらって実施した。学校とのパイプ役として地域学校コーディネーターに声をかけていただくとやりやすいし協力していきたい。
 - ・ 先行して、昨年度から西砂学習館と幸学習館で学校コーディネーターと連携しようと手探りで取り組んでいる。幸学習館運営協議会委員に学校コーディネーターがすでに入ってきている。学習支援に取り組んでいる方。学校ごとにやっている内容は異なり、コーディネーターさんの取り組みも異なる。行政の方からこんなことができますよ、こういう物がありますよという声かけができるといい。「学社一体」ということで小学校の校長先生に尋ねてみたところ、学校にない資源、リソース、逆に学校にしかない資源の有効活用ができたという話があった。共有が大事という話。また不登校について児童館などと連携できないかなどのお話をいただいた。
 - ・ 学校にとって何かお手伝いできることはあればと思うが、それが先生達の負担になるかもしれない。いったい何をやればいいのか、学校によって特化できることもあるので手伝える部分があれば教えていただきたい。
 - ・ 国の方針、グランドデザインに基づいて、立川市の方針、アクションプログラムがあると思われる。オール立川でなく、地域性がある。各地域で具体的に何ができるのか、どのようにアプローチしていったらいいのか、コロナ禍で何ができるのか、どう動いていくのかもっと認識していかないといけない。具現化に結び付けていくことが大切だと思う。アイデアだけを持って行っても学校は今リモート授業の取り組みなどで大変な状況だと思う。家庭も大変な状況。収束していった時に理想的なアイデアを具現化していけばいいと思

うが、今、目の前にあることを認識しておくことが大事。立川の方向性を再確認する必要がある。

- ・生涯学習係・梅澤職員より立川市の現状について、説明。人が変わってもしくみは変わらないようにしていくことが本来の目的。地域の人が入って学校の運営方針等を話し合う「コミュニティ・スクール」。

コロナの中でも学びを止めない、学校での働き方改革、地域学校コーディネーター同士のつながりを持つことに取り組んでいる。地域学校協働本部として、立川ならではの学習、体験、地域に住んでいる人から学ぶ、地域が元気になることを目指している。今年度の地域学校コーディネーター連絡会では地域学校コーディネーターマニュアルを作成予定。

- ・以前に実施した天体観測は第五小学校の校庭をお借りして立川高校の高校生や市職員にお手伝いしてもらって大変良かった。
- ・学芸大の学生に講師をお願いして「オープン子ども科学あそび隊」を第二小学校で科学実験を実施した実績もある。地域学校コーディネーターに介在していただいて、学校を会場として借用して「誰でもコンサート」を企画・実施していきたい。子ども達が障害者について学べる機会となる。今はコロナ禍で難しいので落ち着いたら企画を持っていきたい。
- ・地域学校コーディネーターは学校の行事日程も把握しているので、パイプ役としてつないでいく役割は担える。
- ・地運協で市民リーダー、児童館、社会福祉協議会などいろいろな委員が集まってネットワークがあるのでつないでいければいいと思う。情報を共有して皆が認識してネットワークを再構築していけたらいい。

以上